

部 局	会計課	補 職	会計管理者	氏 名	志水 巧
-----	-----	-----	-------	-----	------

1. 部局の使命

適正で効率的な会計事務の実現を通じて市民の信頼に応えるため、現金や有価証券、物品の出納・保管、現金及び財産の記録管理、決算の調製等の事務の確実な執行に取り組みます。

2. 使命を遂行するための取り組み方針と、それに基づく取組みの総括 方針取組みの総括

方針	取組みの総括
(1) 適正で効率的な会計事務の推進 デジタル化を通じた会計事務の効率化や迅速化により、行政コストとともに市民や事業者、金融機関等の負担低減に取り組みます。また、公金収納のデジタル化を進め、利便性の向上を図ります。 (2) 公金の安全かつ有利な運用 歳計現金をはじめとする各公金の余裕資金を的確に把握するとともに、近年の金融政策の大きな変化に気を配りつつ、安全、かつ、有利、効率的な保管運用に取り組みます。 (3) 備品の適正な管理及び不用物品の有効活用 デジタル化による各部局における適正な備品管理を支援するほか、不用となった車両等の物品については中古物品として売却する等の有効活用を図ることなどにより、廃棄物の削減に寄与するとともに、自主財源の確保につなげます。	【今年度末に記載】

3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

No	当年度目標(当初設定)	実績		
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性	
1	全国規模の収納システム(eLTAX)を活用した公金収納のデジタル化の推進【重点】 国において、地方税以外の公金についても令和8年(2026年)9月から全国規模の収納システム(eLTAX)を活用しキャッシュレス決済やQRコードを利用した収納処理が行える環境が整備されることから、本市においてもこの収納の仕組みを導入、活用し、市民や事業者の利便性の向上と、収納事務の効率化を図ります。 ①全部局により推進するための「公金収納デジタル化検討会議」の開催【随時】 ②当課所管の財務会計システムの改修 予算要求等準備【4月～6月】改修作業【7月～3月】 ③各部局の収納システムの改修支援(情報提供等)、連携にかかる調整等の実施【随時】	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】	
	総合計画			
	5-2- (1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます			
	基本政策			
	64 とよなかデジタル・ガバメントの推進			

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
2	会計業務のデジタル化、効率化の推進【重点】		
	(1) 支出命令書(支払伝票)の電子決裁率の向上を図ります。【電子決裁対象伝票における電子決裁率80%】 ①複雑な伝票作成パターンに対するマニュアル作成やシステム操作説明会の開催【4月～9月】 ②紙を必要とする納付書払いや現金払いなどの支払方法への電子決裁の導入(対象伝票の拡大)の検討・実施【通年】		
	(2) 振込書払いとなっている通信料金をクレジットによるまとめ払いに切り替えていきます。 ①通信料金の振込書払いの削減率(令和4年度(2022年度)から)【累計70%】		
		【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
総合計画			
5-2- (1)	公正で効果的・効率的な市政運営を進めます		
基本政策			
64	とよなかデジタル・ガバメントの推進		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
3	効果的かつ効率的な基金の運用	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	1年未満の短期運用については、定期預貯金等において金融機関の分散を図るなど安全性に留意し運用を行います。長期運用については、「債券運用戦略」に基づき地方債等による運用額を積み増しし、利子収入の増加を図ります。また、近年の積立基金残高の推移や金利環境の変化を踏まえ、今後の運用の見直し等について財政課と調整を行います。		
	①短期運用 定期預金等により期間や預入先を分散して行う【6月～2月】		
	②長期運用 地方債等を3億円分購入(運用累計15億円)【4月～9月】		
総合計画			
5-2-	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます		
基本政策			
63	財務基盤の強化		

当年度目標(当初設定)		実績	
No	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
4	備品の適正管理及び不用品の有効活用	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	(1)所管備品が多い所属の備品管理のデジタル化を支援するなど、各所属における管理作業の効率化に取り組むとともに、現場調査により課題が見られた所属に対して改善策を提案するなど、全部局の備品管理の精度を高めていきます。 ①導入効果の見込める所属への備品管理アプリの新規提供【4月～9月】 ②管理状況の往査、改善策の提案、他所属の有効事例や対策等の紹介【12月～2月】		
	(2)不用物品の種類、内容等に応じ、効果的・効率的な売却方法を選択し、歳入確保を図ります。車両については状態や市況等を見極めながらインターネットオークションにより中古物品として売却を行います。 ①不用物品の売却【随時】 ②次年度の売却予定物品の把握【10月～12月】		
総合計画			
5-2-	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます		
基本政策			
63	財務基盤の強化		

当年度目標(当初設定)		実績	
No	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
5	変革への取組み	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	(1)社会のキャッシュレス化の進展にあわせ、主として現金払いとなる場面での支払手段として法人クレジットカードの導入を検討していきます。【9月】〔新規〕 ①クレジットカード払いの法的整理、利用シーンの決定、管理・利用ルールの策定、経費精算、システム処理方法等の検討 ②手続き等準備 ③特定の所属にて実験導入し課題等を検証		
	(2)課内PTによる変革への取組み検討【随時】〔新規〕		
総合計画			
5-2-	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます		
基本政策			
69	創る改革を推進するための環境づくり		

4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など		スケジュール(工程)	
1	公金の安全かつ有利な運用 積立基金の運用について、近年の金融政策の大きな変化に気を配りつつ、以下の取組みを行います。 (1)1年未満の短期運用については、定期預金等により期間や預入先を分散して行います。 (2)長期運用については、「債券運用戦略」に基づき、財政課と調整の上、地方債等の購入により利子収入の増加を図ります。		(1)各年度における基金の取崩予定額のほか、歳計現金への一時繰替も見込みながら、預入額及び期間を決定し運用を実施【通年】 (2)毎年度、債券を3億円ずつ購入し、令和12年度(2030年度)に保有残高30億円のポートフォリオを構築【継続して実施】	
	総合計画			
	5-2- (1)	公正で効果的・効率的な市政運営を進めます		
基本政策				
	63	財務基盤の強化		
2	適正で効率的な会計業務の推進 (1)全国規模の収納システム(eLTAX)を活用した公金収納について、令和8年(2026年)9月からの開始をめざします。また、これに合わせ、指定金融機関に委託する派出所の窓口受付業務の見直し等の調整に取り組めます。 (2)財務会計システムの電子請求書への対応（請求データと支払データの連動）について研究を進めていきます。		(1)公金収納のデジタル化による収納事務の見直し ①財務会計システムの改修【令和7年度(2025年度)】 ②eLTAXとの連動によるデジタル収納の開始【令和8年(2026年)9月】 ③指定金融機関と令和9年(2027年)8月からの次期輪番期に向けた調整【令和8年度(2026年度)】 (2)電子請求書にかかる研究【継続して実施】	
	総合計画			
	5-2- (1)	公正で効果的・効率的な市政運営を進めます		
基本政策				
	64	とよなかデジタル・ガバメントの推進		